



耳よりな話

N.47

平成 26 年 3 月 19 日発行

(労働・社会保険ニュース)

阿部年金労務管理研究所

阿部 純二 (社会保険労務士)

〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5-25-14

Tel 090-1200-1526 Fax 042-722-1526

E-mail: abenenkin@ybb.ne.jp

<http://nenkinsodan.web.fc2.com/>

遺族年金に新判決・・・その2

前号にて、現在の遺族年金支給規定に反する大阪地裁の判決が出たことを記述しました。

現在、遺族基礎年金(国民年金)は、妻に先立たれた夫には支給されませんが、今回成立した年金機能強化法によって平成 26 年 4 月からは、妻に先立たれ高校生以下の子を扶養する夫にも支給されることとなります。

【おことわり】

「耳よりな話」にてお知らせする年金等の内容につきましては、平易な文言にてその骨子を説明することを心掛けております。従いまして、法令条文通りの厳密な解釈や例外規定の適用に拠っては該当しない人もいます。その旨をご理解頂きますよう、更に詳細が必要な方は別途お問い合わせください。

* 既発行の「耳よりな話」は <http://nenkinsodan.web.fc2.com/> をご覧ください。

運命には自分で決めることのできない事が多くあります。

先日、産院で赤ちゃん取り違え事件がありました。60 年経って知らされたご当人の心中は如何ばかりでしょう。適切な言葉が思い当たりません。

多感な時期に、実は生みの母親が生存していて、しかもある時期まで同じ空の下で生活していた事実を知った衝撃はまた如何ばかりでしょうか。しかし、その事実を知った後も、明るく前向きに生きてきた方をご紹介したいと思います。

そのご当人、**柵瀬 幸雄**（たなせ ゆきお）さんは早稲田大学を卒業後42年間のサラリーマン生活を終えた後、パソコンのボランティア指導（「シニアネット町田」第4代会長）や、ハワイアンバンドのメンバーとして、ウクレレ、ボーカルと軽妙な話術で多くのファンを楽しませています。



ここに掲載の内容はドキュメンタリーとして録音されています。これは、当時、全国刑務所の受刑者向けに録音教材として法務省の依頼を受けて制作された1本で、平成4年に取材されたものです。末尾に記載のURLではハンカチを用意してお聞きください。

以下柵瀬さんからの一文をご紹介します。

再 会

17歳のとき実母でないと分かる

昭和12年4月3日、岐阜市で出生。3、4歳ころ旧満州に渡り、旅順、大連、北安(ペイアン)を経て黒河(コッカ)で国民学校1年生、新京で2年生1学期を終えて終戦、岐阜市に引き揚げてきました。

高校2年のときだったと思いますが、思春期の多感な頃です。また受験勉強で憂鬱な日々を送ってもしました。ある朝の登校前、母と些細なことで言い争いとなり、ついに言ってしまったのです。「どうせ、自分が産んだ子ではないからだ」と。

学校から帰ってくると、母と妹も弟も誰もいませんでした。言ったことが本当だったのです。夕方、まず母の母親が来て「あの子も悪い子ではないので、堪忍してね」などと言って帰って行きました。そして父が帰ってきて「どうして分かったのか」とだけ言いました。

薄々疑っていたことが事実

母が18歳のときに産まれており、どうして妹とは8歳、弟とは11歳も離れているのだろうかとか、友達の母親は、皆あんなにやさしいのに、どうして厳しいのかなどです。

旧満州に渡った幼児のころは、ズーっと祖母と伯母に育てられていました。5歳ごろ父が現われて「父」という存在を知り、祖母と3人で大連の伯母のところから旧満州の北部、北安(ペイアン)に行きました。父の転勤のためと後に分かったのですが、その北安で父が「もうすぐ内地から母さんが来る」と言いました。そして母が来て、世の中には「母」という存在があるのだと、何の抵抗もなく受け入れていました。

小学校の頃、下の叔母に会ったとき、自分では気が付きませんでした。暗い顔をしていたらしく「母さんにいじめられたのか」と言われた言葉が引っかかっていました。「母さんに叱られたのか」なら分かりますが、母が子を「いじめる」というのは変です。

生母はどこに、生死は

それでは生みの親は、生きているのか、それとも、などと、写真など見たこともなく、ただ不審な思いで臉の母を頭の中で追いかけていました。

昭和32年、大学の入学手続きに必要な戸籍謄本を見て、初めて実母の姓名が分かったときに

は、一瞬、光が見えたようでした。協議離婚だったということも分かりましたが、その他は全く分からず、自分で調べる勇気もなく、その後は、この事実を時に思い出すぐらいで、ほとんど忘れるようになっていました。

平成元年に育ての親とも言うべき伯母が84歳で亡くなり、遺産相続問題で世話になった弁護士に、産みの母のことを調べてくれるように頼んだところ、平成3年7月に報告がありました。

実母は健在で、1人息子のいる人の後妻になり、女子を1人産んでいると。そして現住所が判明、同じ岐阜市内でした。継母より4歳上で、22歳のときに私を産んでいました。

涙もなく54年ぶりに再会

当時、54歳、母は76歳、どうしているだろうか。ひょっとして入院でもしてはいないだろうか、すぐさま岐阜の現住所を訪ねました。真夏でしたが、押し売りと同違えられないかと、背広とネクタイで西岐阜駅に降り立ちました。

調べておいた道順で歩いてほどなく門前に到着、奥に入って玄関で「ごめんください」と声をかけると、やがてガラス瓶を持った母らしき年かっこの婦人が現われました。「どなたですか」と問われたので「幸雄」ですという、「分かりません」と言う。そこで用意しておいた戸籍謄本を出して「こちらが父で、こちらが・・・」と言って指差すと、「ああ、分かりました。いま出て行くから、角の信号で待っていて」と言われました。

生き別れの事実が判明

ほどなく母は着替えをして自転車を押して現われました。一緒に住んでいる娘には、再婚の前に男の子を産んでいることを話していないので、外で会うことになったと言いました。

近所の小綺麗な喫茶室に入り、開口一番「立派になったね」と言う。そして一番知りたかった話を聞きました。どこで生まれ、どうして離婚したのかと。

産んだのは今住んでいる家の近くの実家で、棚瀬家に戻って間もなく、舅(私の祖母)から「しばらく実家に戻ってなさい」と言われたといます。しかし、待てども音沙汰なく、ほどなく離縁されたとのことでした。理由は、棚瀬一族は旧満州に渡るようになったと言われ、「そんな遠いところに行くのは嫌だ」と言ったのが原因だったということです。

初対面の実母が小遣いを

「再会」というより「初対面」でした。2人で涙もなくこれまでの生活、近況などを語り合い2時間も経ったところ、写真を撮らせてと言って外に出ました。店の前で何回かシャッターを切って、「それではまた」ということでカメラを仕舞っていると、母は自転車の方に行ってから振り返って「これで何かを買いな」と、四つに折った5千円札を渡されました。そして「握手をしよう」と言い、手を取り合いました。

初めて肉親に触れたこのときは、堪らず涙がどっと零れ落ちました。母もそのように見えました。産んで別れ別れになって初めて会った息子に、小遣いをくれたのでした。やはり親だったのです。

その後、母とは何回か会ったり電話したりしていましたが、平成24年に96歳で亡くなり、娘である父違いの妹にも会うことができました。この3月が三回忌で岐阜に言って来ました。

継母は認知症で岐阜の施設に入っており、世話になった感謝の気持ちで会いに行っても私を確

認できない状態です。母違いの妹が面倒を見ています。

「再会」は、ドキュメンタリーとして制作されており、ホームページ
<http://p.tl/Mqri>
で聞くことができます。約28分。



第一生命が毎年「サラリ - マン川柳
コンクール」を発表しています。
傑作をご披露します。
(本件は第一生命様から転載
の承認を得ております)

* 新コーナーを設けました。
次ページをご覧ください。

急くなよ 無理をするなよ いし出来る？	そりゃないよ
刺客だと言われ遠くへ飛ばされた	閑人
昔バ 今は病院 ひびくする	健康不良児
少子化を 食い止めたいが 相手なし	壽退社希望
初孫に 大人六人 総がかり	両家初孫
第十九回 第一生命サラリーマン川柳コンクールより	

変な話 …… これでいいのかな？

日常生活の中には、“ちょっと変だな”“オカシーな”と思うことが沢山あります。

気付いた事を気軽に投稿していただく「変な話」コーナーを設けましたのでご利用ください。腹の中に溜めておくと健康に良くありません。ただし、内容につきましての責任を負いかねますのでご承知ください。当然ながら、公序良俗の範囲内で、また節度を守るため実名で開陳していただきたいと思います。また、それに対するご意見等もお寄せください。

先ず第1回目として、阿部純二が以下述べさせていただきます。

4月にWindows X Pのサポート期間が終了することなので、Windows8.1を購入しました。操作しながら「何でこんな不便なことにする必要があるのか」と自分の未熟さは棚に上げて怒りながら悪戦苦闘しています。

マイクロソフトや通信会社の消費者対応に関して不満や怒りの声をよく耳にします。

今回私の「変な話」は、プリンター（2005年、エプソンPM-A870）のWindows8.1への接続が上手く行かないことです。

エプソンに電話すると、オペレーター嬢は当然のように「お持ちのプリンターは古い機種となりWindows8.1には対応できません。新機種をご購入ください」との回答です。怒り心頭に発し、上司に替わってもらい「Windows8.1に対応する機種が無いのであれば仕方ないが、有るにも拘らず互換性を無視するのは、売らんが為だけの卑劣な商行為ではないか。インキも純正品を推奨していたため予備在庫があるのに無駄になってしまう。企業倫理に照らし如何なものか」と責め立てましたが、「申し訳ありません」を繰り返すのみです。

…と、つい「公式ではないが、次のような方法で上手くいった話を聞きました」の発言がありました。

早速その方法でやってみると、驚くことに印刷、スキャンとも上手く接続出来ました。

新製品を売る為だけの企業態度に少々暗澹たる気持ちにさせられました。

「この方法」がどなたにも適用する一般的な方法かどうか分かりませんので、「この方法」については記載しませんが、もし同じ状況で必要の方がおられましたら、新機種をお買いになる前に試してみてもいいかが。当方にお問い合わせの節は実名にてお願いいたします。